

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>1 岩手県立農業大学校の専門職大学化について            (1) 専門職大学化に向けてのロードマップ作成            (2) 必要な教員の確保などソフト・ハード面の環境整備</p> <p>岩手県立農業大学校の早期の専門職大学化について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』            農業分野における専門的な知識を有する人材を確保するため、岩手県立農業大学校の早期の専門職大学化について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』            ◆当町六原は昭和7年の県立六原青年道場が設置から、現在の農業大学校まで80年以上にわたり、農業青年等の教育の地となっており、国が推進する農業大学校の専門職大学化を目指すことが、これまでの歴史からも望ましい。            ◆農家数、農業従事者数は減少の一途であり、地域、金ケ崎町、岩手県の農業を産業として継続していくためには、栽培・飼養技術にとどまらず、農業分野における生産・加工・販売などを先導する人材育成・確保が喫緊の課題である。</p> <p>『期待される効果』            ■農業分野で高付加価値化、販路拡大等を先導する人材の養成            ■学生数、教員数等の規模拡大による地域活性化</p> <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 専門職業大学化に向けてのロードマップ作成            2 必要な教員の確保などソフト・ハード面の環境整備</p>	<p>平成29年5月に学校教育法が一部改正（平成31年4月施行）され、大学制度の中に位置付けられた専門職業人の養成を目的とする新たな高等教育機関として、「専門職大学」及び「専門職短期大学」の制度が設けられ、これらの設置基準が9月に示されたところです。</p> <p>この設置基準では、一定数の教授や研究能力を併せ有する実務家教員が必要となるほか、企業等での臨地実務実習が300時間以上必要となるなど、産業界等と緊密に連携した実践的な職業教育に重点を置いたものとなっています。</p> <p>本県の農業大学校は、農業・農村の幅広い知識と実践的技術を身につける教育を行っていますが、専門職大学となる場合には、</p> <p>① 2年間の中で専門職としての高度な技術習得に大きく時間を割かれるため、基礎的な学習が不足する可能性があるとともに、</p> <p>② 専任の教員数の確保、実習時間の増加に伴う実習先の確保やカリキュラムの変更、専任教員の研究室整備などの課題もあり、</p> <p>県としては、県民ニーズや専門職大学のメリット・デメリット、他県の取組状況なども十分に検証し、今後の対応を考えていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>C</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2 岩手県農業農村指導士について</p> <p>1 岩手県農業農村指導士に対するメリット措置の新設（インセンティブ）</p> <p>岩手県農業農村指導士認定要綱等の見直しを行って頂きますよう、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』</p> <p>岩手県農業農村指導士の維持、増加を図るため、認定者へのメリット措置の創設や、審査方法の見直しについて、特段のご高配を賜いますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』</p> <p>◆岩手県農業農村指導士の認定制度は、地域農業・農村の振興に意欲的に取組んでいる優れた農業者を認定し、その自主的活動の助長を図り、本県の農業及び農村の一層の発展に寄与することを目的に実施されている。</p> <p>◆当町の岩手県農業農村指導士については、既定年齢により認定解除者が増加しつつあるとともに、新たな候補者については、認定のメリットが少ないことや、審査に係る対応が負担である等の理由により、積極的に推薦に応じる者がいない状況となっており、年々その数が減少傾向にある。</p> <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 岩手県農業農村指導士に対するメリット措置の創設（インセンティブ）</p>	<p>岩手県農業農村指導士の認定制度は、地域の農業・農村の振興に意欲的に取り組んでいる優れた農業者を岩手県農業農村指導士として認定し、その自主的活動の助長を図り、本県の農業及び農村の一層の発展に寄与することを目的としているものです。</p> <p>県では、市町村及び農業関係団体と連携を図りながら、岩手県農業農村指導士の活動に必要な情報収集への支援、調査及び研究への支援、自主的な組織活動への支援をしているところです。</p> <p>今後も、農業改良普及センターなどの現地機関が中心となって、市町村等と十分に連携して、岩手県農業農村指導士が、関係機関・団体に対して提言する機会の拡大や地域で活躍する場の創出など自主的活動に対する支援を行っていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>B</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2 岩手県農業農村指導士について            2 岩手県農業農村指導士の審査方法の見直し（簡素化）            岩手県農業農村指導士認定要綱等を見直しを行って頂きますよう、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』            岩手県農業農村指導士の維持、増加を図るため、認定者へのメリット措置の創設や、審査方法の見直しについて、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』            ◆岩手県農業農村指導士の認定制度は、地域農業・農村の振興に意欲的に取り組んでいる優れた農業者を認定し、その自主的活動の助長を図り、本県の農業及び農村の一層の発展に寄与することを目的に実施されている。            ◆当町の岩手県農業農村指導士については、既定年齢により認定解除者が増加しつつあるとともに、新たな候補者については、認定のメリットが少ないことや、審査に係る対応が負担である等の理由により、積極的に推薦に応じる者がいない状況となっており、年々その数が減少傾向にある。            以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 岩手県農業農村指導士の審査方法の見直し（簡素化）</p>	<p>岩手県農業農村指導士の認定制度は、地域の農業・農村の振興に意欲的に取り組んでいる優れた農業者を岩手県農業農村指導士として認定し、その自主的活動の助長を図り、本県の農業及び農村の一層の発展に寄与することを目的としているものです。</p> <p>岩手県農業農村指導士認定に係る審査については、各市町村長から提出された推薦調書に基づき、岩手県農業農村指導士選考委員による現地調査及び審査委員会を経て、知事が認定することとしています。</p> <p>現地調査は、推薦市町村の協力を得て、被推薦者と選考委員との現地調査での直接のやり取りの中で、しっかりと認定要件等を確認し、認定していますが、被推薦者が現地調査等の対応を負担と感じることがないように、市町村等と十分に事前調整を行うなど、円滑な運営に配慮していきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>B</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>3 一般国道4号の4車線拡幅整備について</p> <p>1 一般国道4号金ケ崎拡幅の調査・設計の推進</p> <p>一般国道4号金ケ崎拡幅の事業促進に向けて、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』</p> <p>一般国道4号金ケ崎区間の4車線拡幅整備につきまして、県の支援により、国による事業化が決定したことに対しまして、御礼申し上げます。</p> <p>当区間の渋滞解消は、本県産業振興、雇用確保の観点、地方創生の取組の推進につながることから、国への働きかけについて、なお一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』</p> <p>◆当該区間は、既に事業化されている北上拡幅整備事業と水沢バイパス整備事業に挟まれた区間で、2車線のいわゆるボトルネック箇所となっており、交通渋滞アンケートや企業アンケートの結果、県南の渋滞箇所ワースト1位となっているほか、渋滞対策の推進や4車線化を望む意見が出されている。</p> <p>◆岩手中部（金ケ崎）工業団地には、東北を代表する先端技術産業及び自動車関連産業等の企業が立地しており、特に、トヨタ自動車東日本株式会社は、トヨタ自動車における小型車の生産拠点として、販売台数国内上位の「C-HR」や「アクア」の完成車を生産しており、運送業などの新たな関連企業の進出や雇用の拡大にもつながっている。</p> <p>◆隣接する北上南部工業団地内では、東北最大規模の「日本郵便株式会社岩手郵便局」や「大和ハウス工業株式会社物流センター」が立地するなど、物流の一大拠点化も進んできているところである。</p> <p>◆今後、人口問題の克服、周辺市町を含めた地域産業をけん引し、産業活性化による雇用の確保、岩手の復興の後押し、まちづくりの発展、総合戦略の効果的な推進を図るためには、地方創生の礎となる一般国道4号の渋滞を緩和して、岩手中部（金ケ崎）工業団地に係る物流の効率化、生産性の向上を図ることが不可欠である。</p> <p>『期待される効果』</p> <p>■渋滞緩和による物流の効率化、生産性の向上</p> <p>※三ヶ尻交差点改良事業に伴う効果</p> <p>渋滞距離（上り 600m⇒160m、下り 500m⇒200m）</p> <p>通過時間（上り 5分18秒⇒1分18秒、下り 2分40秒⇒53秒）</p> <p>※通勤車両 約5,000台/日（従業員約6,000人が就業）</p> <p>※完成車両を運ぶキャリアカー 約200台/日</p> <p>■産業振興による雇用創出</p> <p>※デンソー岩手では、事業拡大に伴い約200人の新規雇用予定以上のことから、一般国道4号金ケ崎拡幅の事業促進について、国へ働きかけていただきますよう、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 一般国道4号金ケ崎拡幅の調査・設計の推進を図ること。</p>	<p>県では、物流を支えるとともに地域間の交流・連携を促進し、快適・安全な生活を支える道路として、一般国道4号の整備の重要性を認識しており、平成29年6月14日に行った平成30年度政府予算提言・要望において、直轄道路整備事業の促進を国に要望しています。</p> <p>県としては、引き続き、貴町と連携を図りながら、当該区間の早期完成について国へ強く訴えていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>3 一般国道4号の4車線拡幅整備について</p> <p>2 道路関係予算を長期的・安定的な確保と、平成30年度当初予算における公共事業関係費の大幅な増額</p> <p>○要望事項 一般国道4号金ケ崎拡幅の事業促進に向けて、特段のご高配をお願い申し上げます。 『要旨』 一般国道4号金ケ崎区間の4車線拡幅整備につきまして、県の支援により、国による事業化が決定したことに對しまして、御礼申し上げます。 当区間の渋滞解消は、本県産業振興、雇用確保の観点、地方創生の取組の推進につながることから、国への働きかけについて、なお一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。 『現状と課題』 ◆当該区間は、既に事業化されている北上拡幅整備事業と水沢バイパス整備事業に挟まれた区間で、2車線のいわゆるボトルネック箇所となっており、交通渋滞アンケートや企業アンケートの結果、県南の渋滞箇所ワースト1位となっているほか、渋滞対策の推進や4車線化を望む意見が出されている。 ◆岩手中部（金ケ崎）工業団地には、東北を代表する先端技術産業及び自動車関連産業等の企業が立地しており、特に、トヨタ自動車東日本株式会社は、トヨタ自動車における小型車の生産拠点として、販売台数国内上位の「C-HR」や「アクア」の完成車を生産しており、運送業などの新たな関連企業の進出や雇用の拡大にもつながっている。 ◆隣接する北上南部工業団地内では、東北最大規模の「日本郵便株式会社岩手郵便局」や「大和ハウス工業株式会社物流センター」が立地するなど、物流の一大拠点化も進んできているところである。 ◆今後、人口問題の克服、周辺市町を含めた地域産業をけん引し、産業活性化による雇用の確保、岩手の復興の後押し、まちづくりの発展、総合戦略の効果的な推進を図るためには、地方創生の礎となる一般国道4号の渋滞を緩和して、岩手中部（金ケ崎）工業団地に係る物流の効率化、生産性の向上を図ることが不可欠である。 『期待される効果』 ■渋滞緩和による物流の効率化、生産性の向上 ※三ヶ尻交差点改良事業に伴う効果 渋滞距離（上り 600m⇒160m、下り 500m⇒200m） 通過時間（上り 5分18秒⇒1分18秒、下り 2分40秒⇒53秒） ※通勤車両 約5,000台/日（従業員約6,000人が就業） ※完成車両を運ぶキャリアカー 約200台/日 ■産業振興による雇用創出 ※デンソー岩手では、事業拡大に伴い約200人の新規雇用予定以上のことから、一般国道4号金ケ崎拡幅の事業促進について、国へ働きかけていただきますよう、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 公共事業関係費を平成21年度以前の7～8兆円規模に回復させ、岩手県南地域の自動車関連産業等の生産性向上に資する道路整備への投資が可能となるよう、道路関係予算を長期的・安定的な確保すること。また、平成30年度当初予算における公共事業関係費の大幅な増額を図ること。</p>	<p>県では、平成29年6月14日に行った平成30年度政府予算提言・要望において、地方創生の基盤となる社会資本の整備等を推進するため、国の公共事業関係費の総額を安定的・持続的に確保するよう国に要望しております。</p> <p>県としては、引き続き、公共事業の関係費の確保について国へ働きかけていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>3 一般国道4号の4車線拡幅整備について            3 財特法の補助率等の嵩上げ措置の平成30年度以降の継続及び拡充・見直し            ○要望事項            一般国道4号金ケ崎拡幅の事業促進に向けて、特段のご高配をお願い申し上げます。            『要旨』            一般国道4号金ケ崎区間の4車線拡幅整備につきまして、県の支援により、国による事業化が決定したことに対しまして、御礼申し上げます。            当区間の渋滞解消は、本県産業振興、雇用確保の観点、地方創生の取組の推進につながることから、国への働きかけについて、なお一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。            『現状と課題』            ◆当該区間は、既に事業化されている北上拡幅整備事業と水沢バイパス整備事業に挟まれた区間で、2車線のいわゆるボトルネック箇所となっており、交通渋滞アンケートや企業アンケートの結果、県南の渋滞箇所ワースト1位となっているほか、渋滞対策の推進や4車線化を望む意見が出されている。            ◆岩手中部（金ケ崎）工業団地には、東北を代表する先端技術産業及び自動車関連産業等の企業が立地しており、特に、トヨタ自動車東日本株式会社は、トヨタ自動車における小型車の生産拠点として、販売台数国内上位の「C-HR」や「アクア」の完成車を生産しており、運送業などの新たな関連企業の進出や雇用の拡大にもつながっている。            ◆隣接する北上南部工業団地内では、東北最大規模の「日本郵便株式会社岩手郵便局」や「大和ハウス工業株式会社物流センター」が立地するなど、物流の一大拠点化も進んできているところである。            ◆今後、人口問題の克服、周辺市町を含めた地域産業をけん引し、産業活性化による雇用の確保、岩手の復興の後押し、まちづくりの発展、総合戦略の効果的な推進を図るためには、地方創生の礎となる一般国道4号の渋滞を緩和して、岩手中部（金ケ崎）工業団地に係る物流の効率化、生産性の向上を図ることが不可欠である。            『期待される効果』            ■渋滞緩和による物流の効率化、生産性の向上            ※三ヶ尻交差点改良事業に伴う効果            渋滞距離（上り 600m⇒160m、下り 500m⇒200m）            通過時間（上り 5分18秒⇒1分18秒、下り 2分40秒⇒53秒）            ※通勤車両 約5,000台/日（従業員約6,000人が就業）            ※完成車両を運ぶキャリアカー 約200台/日            ■産業振興による雇用創出            ※デンソー岩手では、事業拡大に伴い約200人の新規雇用予定以上のことから、一般国道4号金ケ崎拡幅の事業促進について、国へ働きかけていただきますよう、次の事項について要望いたします。</p> <p>3 財特法の補助率等の嵩上げ措置については、平成30年度以降も継続するとともに、地方創生を果たすために必要な道路整備の推進が図られるよう、拡充・見直し等の措置を講じること。</p>	<p>県では、平成29年6月14日に行った平成30年度政府予算提言・要望において、「道路路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定による補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も嵩上げ措置を継続するとともに、地方創生推進のために必要な道路整備については、補助率等を拡充するよう国に要望してきたところですが、平成30年2月に道路の改築に対する国費率のかさ上げ措置を平成39年度末まで延長する改正案が閣議決定されました。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>4 北上川流域における自動車産業に対する集中的投資について</p> <p>1 北上川流域に特化した岩手県土地開発公社を活用した産業用地の造成・整備</p> <p>○要望事項 北上川流域における岩手県としての自動車産業振興に対する集中的投資に特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 コンパクトカーの国内最大の製造拠点である北上川流域に岩手県としても集中的に投資し、産業集積の機会を確実にとらえ、本県のさらなる産業振興を進められますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆コンパクトカーの製造拠点である北上川流域は、岩手県における自動車産業の重要拠点として位置付けられており、着実に地場企業の自動車産業への参入も進み、この地域だけで岩手県全体の製造品出荷額等の6割以上を占め、県の税収確保にも大きく貢献している。 ◆トヨタ自動車(株)では、製品群別のカンパニー制を導入し、トヨタ自動車東日本(株)は「Toyota Compact Car Company」の中心として位置付けられ、今後新たな車種の岩手工場での製造が見込まれ、それに伴う新規企業立地も大きく期待できる。 ◆このような中、物流路線の維持、整備などが課題となっているほか、金ケ崎町が新たな工業用地確保に向け平成28年度に実施した土地活用可能性調査の報告によれば、町内において最も期待ができる北上・金ケ崎インター付近の開発は、岩手県の地域森林計画の森林となっているため、現状のまま開発しても25%の森林率を確保しなければならず、実際に用地として利用できる面積は50%未満になることが判明した。</p> <p>『期待される効果』 ■全国有数の産業開発拠点 ■新規企業立地 ■雇用の確保 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 北上川流域に特化した岩手県土地開発公社を活用した産業用地の造成・整備</p>	<p>北上川流域地域において、産業用地が不足しつつある状況については、県としても認識しているところです。</p> <p>産業用地の整備に係る岩手県土地開発公社（以下「公社」という。）の活用については、市町村が主体として整備を行う場合であって、公社への委託を希望するときに、当該市町村の財政状況、人員状況等を踏まえて、県が委託の可否を総合的に判断することとしています。</p> <p>なお、産業用地の整備には多額の費用を要することから、国に対して、地方自治体が行う産業用地の整備に対する支援を行うよう要望しているところです。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>C</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>4 北上川流域における自動車産業に対する集中的投資について            2 産業振興のニーズに配慮した地域森林計画の変更</p> <p>○要望事項            北上川流域における岩手県としての自動車産業振興に対する集中的投資に特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』            コンパクトカーの国内最大の製造拠点である北上川流域に岩手県としても集中的に投資し、産業集積の機会を確実にとらえ、本県のさらなる産業振興を進められますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』            ◆コンパクトカーの製造拠点である北上川流域は、岩手県における自動車産業の重要拠点として位置付けられており、着実に地場企業の自動車産業への参入も進み、この地域だけで岩手県全体の製造品出荷額等の6割以上を占め、県の税収確保にも大きく貢献している。            ◆トヨタ自動車(株)では、製品群別のカンパニー制を導入し、トヨタ自動車東日本(株)は「Toyota Compact Car Company」の中心として位置付けられ、今後新たな車種の岩手工場での製造が見込まれ、それに伴う新規企業立地も大きく期待できる。            ◆このような中、物流路線の維持、整備などが課題となっているほか、金ケ崎町が新たな工業用地確保に向け平成28年度に実施した土地活用可能性調査の報告によれば、町内において最も期待ができる北上・金ケ崎インター付近の開発は、岩手県の地域森林計画の森林となっているため、現状のまま開発しても25%の森林率を確保しなければならず、実際に用地として利用できる面積は50%未満になることが判明した。</p> <p>『期待される効果』            ■全国有数の産業開発拠点            ■新規企業立地            ■雇用の確保</p> <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 産業振興のニーズに配慮した地域森林計画の変更</p>	<p>地域森林計画の変更は、森林法により、大災害の発生等による森林資源の状況変化や変動等があった場合に限定されており、工業用地造成のための地域森林計画区域の変更は対象とされていないところでは。</p> <p>このため、検討されている工業用地造成計画については、林地開発行為の手続を経る必要があり、この手続の要件を満たすため、例えば、計画の事業区域を拡張するなどにより、森林率の確保を御検討いただくようお願いいたします。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>林務部</p>	<p>D</p>



金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>4 北上川流域における自動車産業に対する集中的投資について            3 町道南花沢・前野線など、町が管理する物流路線の維持、修繕への支援            ○要望事項            北上川流域における岩手県としての自動車産業振興に対する集中的投資に特段のご高配をお願い申し上げます。            『要旨』            コンパクトカーの国内最大の製造拠点である北上川流域に岩手県としても集中的に投資し、産業集積の機会を確実にとらえ、本県のさらなる産業振興を進められますようお願い申し上げます。            『現状と課題』            ◆コンパクトカーの製造拠点である北上川流域は、岩手県における自動車産業の重要拠点として位置付けられており、着実に地場企業の自動車産業への参入も進み、この地域だけで岩手県全体の製造品出荷額等の6割以上を占め、県の税収確保にも大きく貢献している。            ◆トヨタ自動車(株)では、製品群別のカンパニー制を導入し、トヨタ自動車東日本(株)は「Toyota Compact Car Company」の中心として位置付けられ、今後新たな車種の岩手工場での製造が見込まれ、それに伴う新規企業立地も大きく期待できる。            ◆このような中、物流路線の維持、整備などが課題となっているほか、金ケ崎町が新たな工業用地確保に向け平成28年度に実施した土地活用可能性調査の報告によれば、町内において最も期待ができる北上・金ケ崎インター付近の開発は、岩手県の地域森林計画の森林となっているため、現状のまま開発しても25%の森林率を確保しなければならず、実際に用地として利用できる面積は50%未満になることが判明した。            『期待される効果』            ■全国有数の産業開発拠点            ■新規企業立地            ■雇用の確保            以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>3 町道南花沢・前野線など、町が管理する物流路線の維持、修繕への支援</p>	<p>道路の維持修繕については、道路管理者が点検・補修をすることとされており、これまでも国の防災・安全交付金などにより財政措置されているところですが、計画的に補修等を実施できるよう、県としても、国に対し財政支援を要望しています。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>5 JR東北本線の利便性向上について            ○要望事項            盛岡駅から水沢駅間の増便について、特段のご高配をお願いいたします。            『要旨』            JR東北本線利用者の利便性を高めるため、盛岡駅から水沢駅間の増便について、JRへの働きかけをお願い申し上げます。            『現状と課題』            ◆JR東北本線は、胆江地域及び両磐地域における住民生活や経済活動に密接な関わりを持っている重要な鉄道路線である。            ◆当地域は自動車関連企業をはじめ、事業所の集積が進んでいるほか、平泉の世界遺産文化登録を背景に多くの観光客が訪れており、地域内の東北本線利用者も増加している。            ◆平成25年8月には、胆江地域と両磐地域にまたがる北上高地が、国内の研究組織「ILC戦略会議」による国際リニアコライダー(ILC)の国内候補地とされ、県都盛岡市周辺地域と当地域とを結ぶ東北本線は、今後ますます重要な役割を果たすことになると予想される。            ◆盛岡駅と一ノ関駅間の普通列車の運行は、朝夕の時間帯を除き1時間間隔であり、通勤や通学等に不便な状況となっていることから、やむを得ず乗用車を利用する例も見受けられる。            以上のことから、次の事項についてJRへ働きかけていただきますよう要望いたします。</p> <p>1 北上駅発着の普通列車を水沢駅発着に変更</p>	<p>鉄道路線については、地域の意向をダイヤ編成等に反映することにより、利用者の利便性向上を図ることが重要であると考えています。            JR線については、毎年度、市町村等のJR線に係る要望を県が取りまとめ、JR東日本盛岡支社に対して要望書を提出しており、今後も要望時期を早めるなどしながら、より地域の意向がダイヤ編成等に反映されるよう対応していきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>6 県立胆沢病院の医療体制の充実について</p> <p>○要望事項            県立胆沢病院の産婦人科医師の確保対策について特段の御高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』            胆江保健医療圏への産婦人科医師の確保による周産期医療体制の充実、特に県立胆沢病院の体制強化について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』            ◆人口減少が進行しているなかで、各市町では少子化への対応を重点課題として様々な取組を進めているところであり、特に安心して子どもを産み育てられる環境の整備が必要となっている。</p> <p>◆県立胆沢病院は、胆江保健医療圏内の各医療機関と地域医療の連携の中心であり、重要な役割を担っているが、今後、国の方針による病床の機能分化が進むことが予想され、県立胆沢病院の重要性がさらに増すものと考えられる。</p> <p>◆胆江保健医療圏内の周産期医療体制については、県立胆沢病院が平成19年8月に産婦人科を休止して以降、近隣の医療機関においてその対応を行ってきたが、奥州市内の出産を取り扱っていた民間産婦人科医が一昨年をもって産科を休診したことから、今後の対応も含め、苦慮している。</p> <p>◆胆江圏内の民間産婦人科医より、中部圏内の県立中部病院と北上済生会病院での出産が多く、設備や人員体制の充実した公的医療機関での出産を希望する妊婦が多いと考えられる。</p> <p>◆胆江保健医療圏内に地域周産期母子医療センターに位置づけられる病院がなくなったことは、緊急事態であり、早急な対応が必要である。</p> <p>『期待される効果』            ■妊婦の不安が解消され、安心して産むことができる以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 県立胆沢病院の産婦人科医師の確保対策にご尽力いただき、安心して子どもを産み育てられる医療体制の充実を図ること。</p>	<p>県立胆沢病院の産婦人科への常勤医師の確保については、関係大学に対して医師の派遣を強く要請していますが、派遣元である大学医局においても医師の絶対数が不足しており、非常に厳しい状況が続いています。</p> <p>県においては、関係大学を訪問し医師の派遣を要請するほか、即戦力となる医師の招聘活動や奨学金養成医師の計画的な配置などに積極的に取り組んでいきます。</p> <p>なお、周産期医療を取り巻く厳しい環境に対応するため、県では、県内に4つの周産期医療圏を設定し、胆江地域については県南圏域の中で、医療機関の機能分担と連携の下、分娩リスクに応じた医療提供体制の確保を図っているところです。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部</p>	<p>B</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>7 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進について</p> <p>1 六原幼稚園東側から一般県道前沢北上線までの区間の歩道整備に係る事業促進</p> <p>○要望事項</p> <p>一般県道久田笹長根線の歩道施設整備について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』</p> <p>一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進につきましては、昨年度、六原幼稚園東側から県道前沢北上線までの0.8 km区間の概略設計を実施していただくとともに、今年度、測量調査等を実施するとのことであり、事業が進んでいることに対しまして、御礼申し上げます。</p> <p>歩行者の安全確保のため、当該区間の事業促進及び未整備区間の早期整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』</p> <p>◆一般国道4号から北上市和賀に至る一般県道久田笹長根線は、千貫石温泉、北上市西部の夏油温泉、夏油高原スキー場をはじめとする豊かな観光資源へのアクセスとして、また岩手県立農業大学校、岩手県立花きセンター及び東北横断自動車道（釜石秋田線）へのアプローチとして地域に密着した路線である。</p> <p>◆自動車産業等の振興に伴い、北上・金ケ崎ICや一般県道前沢北上線から岩手中部（金ケ崎）工業団地等に向かう通勤車両及び物流の大型車両の交通量が急増している。</p> <p>◆児童・生徒が関係する事故もあったことにより、地元住民や保護者などから児童・生徒、高齢者等の歩行者の安全確保を強く求められている。</p> <p>『期待される効果』</p> <p>■歩道整備による児童・生徒及び高齢者等の安全が確保される。以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 六原幼稚園東側から一般県道前沢北上線までの区間の歩道整備に係る事業促進</p>	<p>歩道設置については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性の高い箇所から整備を進めています。</p> <p>御要望の箇所については、平成29年度は測量設計を実施しており、引き続き事業を進めます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>7 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進について</p> <p>2 一般県道久田笹長根線の歩道整備に係る未整備区間の解消</p> <p>○要望事項 一般県道久田笹長根線の歩道施設整備について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進につきましては、昨年度、六原幼稚園東側から県道前沢北上線までの0.8 km区間の概略設計を実施していただくとともに、今年度、測量調査等を実施することとされており、事業が進んでいることに対しまして、御礼申し上げます。</p> <p>歩行者の安全確保のため、当該区間の事業促進及び未整備区間の早期整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆一般国道4号から北上市和賀に至る一般県道久田笹長根線は、千貫石温泉、北上市西部の夏油温泉、夏油高原スキー場をはじめとする豊かな観光資源へのアクセスとして、また岩手県立農業大学校、岩手県立花きセンター及び東北横断自動車道（釜石秋田線）へのアプローチとして地域に密着した路線である。 ◆自動車産業等の振興に伴い、北上・金ケ崎ICや一般県道前沢北上線から岩手中部（金ケ崎）工業団地等に向かう通勤車両及び物流の大型車両の交通量が急増している。 ◆児童・生徒が関係する事故もあったことにより、地元住民や保護者などから児童・生徒、高齢者等の歩行者の安全確保を強く求められている。</p> <p>『期待される効果』 ■歩道整備による児童・生徒及び高齢者等の安全が確保される。 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 一般県道久田笹長根線の歩道整備に係る未整備区間の解消</p>	<p>歩道設置については、各地域から多くの要望があることから、必要性や緊急性が高い箇所から整備を進めています。</p> <p>御要望の箇所については、今後の交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8 茅文化保存のための茅生産に対する支援について            1 茅のブランド化に関する支援（地域産業資源への指定）</p> <p>○要望事項            茅葺屋根の文化財を保護していくため、県内一の面積の千貫石茅場への支援について、特段のご高配をお願い申し上げます。            『要旨』            千貫石茅場を茅葺屋根文化財の保存修復資材である山茅の一大生産地として維持・発展させるため、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。            『現状と課題』            ◆千貫石茅場は、貴重な山茅の生産地としてその重要性が認められ、平成27年3月24日付けで文化庁の「ふるさと文化財の森」の設定を受けている。            ◆町指定文化財（旧坂本家侍住宅、片平丁・旧大沼家侍住宅、土合丁・旧大沼家侍住宅）をはじめ、県内では遠野ふるさと村、雫石町歴史民俗資料館などで利用。            ◆全国の茅葺屋根文化財を訪問し、当町の山茅についてPRしたことにより、県外では奈良県、兵庫県、東京都、秋田県など全国各地への供給実績。            ◆県内外に長期的・安定的に供給できる生産計画を作りたいところではあるが、晩秋から降雪前までの短期間で刈り取りしなければならないことや作業員の高齢化等により、ここ数年は安定生産が困難な状況。            ◆平成25年から試験的に導入した機械刈で、生産量確保に向けた取組を行ったが見込んだ生産量が確保できず、平成27年に改めて生産方法の見直しを図り、試行した茅の刈り倒し冬越しは生産量確保に一定の効果があった。            ◆山茅は茅葺屋根文化財の修復に必要な不可欠な材料であり、町では、今後も優良な山茅を全国に安定供給していくため、栽培技術、機械刈技術の開発を含めた生産方法について検討しながら取り組んでいきたいと考えている。            『期待される効果』            ■新たな県産品（町産品）ブランドの育成            ■千貫石茅場の長期的な維持管理体制の構築            以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 茅のブランド化に関する支援（地域産業資源への指定）</p>	<p>県では、「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律」に基づき、農林水産物、鉱工業品、地域の観光資源等の中から、地域産業の強化や新たな地域産業の創出の核となり得るものを地域産業資源として指定していますが、平成29年10月16日付でススキ（山茅）及び千貫石茅場について追加指定しています。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>A</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8 茅文化保存のための茅生産に対する支援について</p> <p>2 茅生産技術向上に関する支援（県機関による茅刈技術の開発、茅栽培に関する技術指導）</p> <p>○要望事項</p> <p>茅葺屋根の文化財を保護していくため、県内一の面積の千貫石茅場への支援について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』</p> <p>千貫石茅場を茅葺屋根文化財の保存修復資材である山茅の一大生産地として維持・発展させるため、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』</p> <p>◆千貫石茅場は、貴重な山茅の生産地としてその重要性が認められ、平成27年3月24日付けで文化庁の「ふるさと文化財の森」の設定を受けている。</p> <p>◆町指定文化財（旧坂本家侍住宅、片平丁・旧大沼家侍住宅、土合丁・旧大沼家侍住宅）をはじめ、県内では遠野ふるさと村、雫石町歴史民俗資料館などで利用。</p> <p>◆全国の茅葺屋根文化財を訪問し、当町の山茅についてPRしたことにより、県外では奈良県、兵庫県、東京都、秋田県など全国各地への供給実績。</p> <p>◆県内外に長期的・安定的に供給できる生産計画を作りたいところではあるが、晩秋から降雪前までの短期間で刈り取りしなければならぬことや作業員の高齢化等により、ここ数年は安定生産が困難な状況。</p> <p>◆平成25年から試験的に導入した機械刈で、生産量確保に向けた取組を行ったが見込んだ生産量が確保できず、平成27年に改めて生産方法の見直しを図り、試行した茅の刈り倒し冬越しは生産量確保に一定の効果があることが分かった。</p> <p>◆山茅は茅葺屋根文化財の修復に必要不可欠な材料であり、町では、今後も優良な山茅を全国に安定供給していくため、栽培技術、機械刈技術の開発を含めた生産方法について検討しながら取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>『期待される効果』</p> <p>■新たな県産品（町産品）ブランドの育成</p> <p>■千貫石茅場の長期的な維持管理体制の構築</p> <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 茅生産技術向上に関する支援（県機関による茅刈技術の開発、茅栽培に関する技術指導）</p>	<p>本県では、茅生産における刈取技術や栽培技術等について実証・研究しておりませんが、必要に応じて茅場の生産状況を確認しながら、生産性向上に向けた技術情報の収集や提供など、可能な限り協力したいと考えています。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>C</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>9 北上川右岸治水対策事業について</p> <p>○要望事項 かさ上げ区間・無堤防区間解消の早期実施並びに北上川と宿内川の合流地点付近の崩落防止・護岸工事について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>『要旨』 県の支援により、国の平成21年度繰越事業による三ヶ尻地区堤防の補強工事が平成23年度に完成したことに対しまして、御礼申し上げます。引き続き、無堤防区間解消の早期実施及び北上川と宿内川の合流地点付近の崩壊防止・護岸工事について、特段のご高配を賜われますようお願い申し上げます。</p> <p>『現状と課題』 ◆本要望箇所は、平成23年度に堤防の補強工事が完成した江崎大橋南側から一級河川宿内川合流地点までの右岸下流約1,800mのうち、かさ上げが必要な区間が約700mであり、更に下流約1,100mが無堤防区間であることから、平成14年及び平成19年の大雨・台風により、田畑に冠水被害を受けたところである。 ◆北上川と宿内川の合流地点付近の水衝部法面には、著しい浸食がみられ、一部護岸ブロックで補強されているところであるが、近年のゲリラ豪雨による急激な増水等により住民が不安を抱えている状況にあり、こうした中、この水衝部の上部にある9戸の住宅のうち、最も川岸に近い住宅1戸が災害時の不安から、自主的に転居したところである。 ◆国選定城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区の区域境となっているほか、その上部は、金ケ崎城の東館があった場所であり、歴史的にも重要な箇所である。 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 かさ上げ区間約700m、無堤防区間約1,100mの解消及び護岸ブロックの上流約100mを延長する工事の早期実施への支援</p>	<p>無堤防区間が多い北上川中流部（概ね紫波町から奥州市の区間）においては、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水に伴い、5年間に2度も甚大な浸水被害を受けています。</p> <p>国では、北上川中流部緊急治水対策事業として、まずは住家への浸水被害の軽減を図ることを優先して進めることとしており、当該地区については他地区の進捗を勘案しながら対応すると聞いています。</p> <p>北上川の治水対策は、県としても重要な課題であり、整備促進に向け引き続き国に働きかけていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B</p>



金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>10 (仮称)新金ヶ崎大橋の新設について            ○要望事項            奥州市江刺区と金ヶ崎町を結ぶ(仮称)新金ヶ崎大橋の新設について、特段のご高配をお願い申し上げます。            『要旨』            奥州市江刺区と金ヶ崎町を結ぶ(仮称)「新金ヶ崎大橋」の新設について、特段のご高配を賜われますようお願い申し上げます。            『現状と課題』            ◆奥州市江刺区と金ヶ崎町を結ぶ金ヶ崎橋は、地域に密着した生活路線である県道江刺金ヶ崎線のうち北上川に架かる橋梁であり、近年、両市町や北上南部工業団地への自動車関連企業等の立地が進んでいることから、産業道路としても重要な役割を果たしている。            ◆当該路線は、岩手中部(金ヶ崎)工業団地、江刺中核工業団地、北上南部工業団地に関連する産業及び物流の路線として、金ヶ崎町と奥州市江刺区、北上市と釜石港及び大船渡港、さらには秋田港を結ぶ産業・物流支援の重要道路でもある。            ◆金ヶ崎橋から県道沿い一帯は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されていることから、拡幅等の整備が制約され、その東に位置する金ヶ崎橋は、幅員が狭く歩道敷設も構造的にできない状況で、車両とすれ違う歩行者や自転車等の通行が常に危険と隣り合わせであり、大型車両等の通行ができない状況。            ◆(仮称)「新金ヶ崎大橋」の新設は、産業振興に寄与し、企業誘致を進める上での重要な整備であり、将来の県南部の発展のために必要な道路になると考えている。            ◆対岸の奥州市及び地区住民とも、その必要性について認識をともにしているところであり、両市町及び住民が連携して要望等を行うことを検討している。            『期待される効果』            ■物流の充実、拡大による産業振興            ■企業立地に伴う雇用の確保            ■自動車産業をはじめとする生産力の向上            以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 奥州市江刺区と金ヶ崎町を結ぶ(仮称)「新金ヶ崎大橋」の新設</p>	<p>御要望の橋梁新設については、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきますが、早期の事業化は難しい状況です。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C</p>